



BlueBay
Asset Management

2017年3月1日

安心できる状況ではない



デビッド・ダウセット

パートナー

エマージング債チーム(コ・ヘッド、国債)

シニア・ポートフォリオ・マネジャー

金利リスクと米ドル高という懸念材料は再び顕在化するとみている

グローバル市場のボラティリティは非常に低い状況が続いています。市場では、米連邦準備制度理事会(FRB)の3月利上げの可能性は約30%織り込まれていますが、議事録はそれを大きく変えるような内容ではありませんでした。米国新政権下における財政計画に関する詳細の発表も特にありませんでした。その結果、市場は落ち着いた状況が続きましたが、金利リスクと米ドル高懸念材料は再び顕在化するとみえています。

現地通貨建て債に投資妙味があると引き続き考えており、中でも、メキシコ、インド、トルコの短期債を愛好しています。ボラティリティが低い状況が続いていることによって、これらの債券のキャリーの魅力はますます増していくと考えています。インドでは、中央銀行が最近の予想を下回るインフレ率への対応をするとみえています。メキシコでは、ソブリンの信用力については引き続き慎重に捉えています。最近の通貨上昇によって、中央銀行がさらなる利上げを実施しなければいけない圧力は低下したと考えています。先週、通貨ヘッジを実施する発表を行ったことかも、短期的には安定がもたらされるとみえています。アジアの社債の新発債にも投資妙味があると考え、流動性の引き続き磐石な中国を中心に積極的に投資を行っています。

その他のエマージング諸国では大きな進展はありませんでした。南アフリカでは予算案のなかに、高所得者に対する増税が盛り込まれましたが、ズマ大統領とゴードン財務相との間の衝突は続いています。ズマ大統領は時間を費やして、ゴードン財務相の力を弱めようとしているとみられます。ベネズエラでは、予定通りクーポンの支払いが実施されたため、短期的な債券価格の上昇をもたらしました。モンゴルにはやや注目が集まりました。当局は準ソブリン債の支払いのために、8.75%を超える利回りで国債の新規発行を行う予定であることを発表しました。

3月はボラティリティが高まると考えています。3月利上げの可能性も完全には排除していません。個別国の状況をみながら投資を続けながら、全体的な方向性は現状のスタンスを維持する方針です。足元の低ボラティリティ環境がずっと続くという見方はしていません。

ブルーベイ・アセット・マネジメント・インターナショナル・リミテッド
関東財務局長(金商)第1029号
加入協会: 一般社団法人 日本投資顧問業協会

本資料は受領者への情報提供のみを目的としており、特定の運用商品やサービスの提供、勧誘、推奨を目的としたものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。本資料は、信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、当社がその正確性、完全性、妥当性を保証するものではありません。記載された内容は、資料作成時点(2017年3月2日)のものであり、今後予告なく変更される可能性があります。過去の実績及びシミュレーション結果は、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。なお、当社による書面による事前の許可なく、本資料およびその一部を複製・転用・ならびに配布することはご遠慮下さい。当社と金融商品取引契約の締結に至る場合には、別途「契約締結前交付書面」等をお渡ししますので、当該書面等の内容を十分にお読みいただき、必要に応じて専門家にご相談の上、お客様ご自身のご判断でなさるようお願いいたします。

以上